

令和4年度事業報告

社会福祉法人 美星会

令和4年度 社会福祉法人 美星会事業報告

総括

本年度において、年間の退去者人数7名（病院6名、特養1名）。新規入居者数8名（在宅5名、病院3名）。夫婦部屋7部屋に対し、2組の夫婦のみの入居に留まっている。延べ50名／54名となった（一般型ケアハウス1名。特定49名）。年間入院者数15名。

今後も一連の流れの精度を上げるべく、空室期間の発生時の対応や夫婦部屋の有効活用、ハウスクリーニングの簡素化を模索し、来年度も同様に透明性のある施設運営を目指し、経営基盤の安定と充実を図りたい。

1、基本方針について

「安心・安全・生活の質にこだわったサービスを目指します」スタッフ一人一人が基本理念を念頭に置いて、入居者にあったサービスを提供に努めた。

2、運営方針（重点目標）

- ①通期を通して満室を確保する事ができず、入居率・稼働率も目標設定より下回ってしまった。区分変更に関し、適宜見直しを行い、本人にあった介護の認定になっていた。
- ②職員の定着化に関し、通期を通して3名の自己都合離職者があり。研修に関し、スタッフが講師となり、一人一人の資質向上に努めた。
- ③感染委員が中心となり、コロナ感染予防に努めた。また、各委員会積極的に活動し、苑の活性化に努めた。

3、事業報告

感染対策・防災訓練・秘密保持・個人情報保護・身体拘束・虐待の研修を実施。また、看護、介護職員による入居者への日々の健康チェックを行い、体調不良時には早期に病院への受診へ繋げ、早期健康回復に努めた。

生活の質をあげ、コロナも落ち着き始めた為、外出レクを行い、楽しんで頂き、日々の生活の充実感に努めた。

4、資質及び専門性の向上

毎月特定のスタッフが講師となり、全スタッフへの研修体制の構築も図り、専門性の向上にも努めた。コロナ禍の影響もあったが、専門職に対し、施設外の研修の積極参加が見受けられた。

施設行事にてボランティアを招く事や、地域の行事等に積極的に参加する事が困難な

状態であった。

5, 行事

毎月、誕生日会の実施や、季節に合った行事を行い、季節の移ろいを実感して頂く。

監 査 報 告 書

令和5年6月7日

社会福祉法人 美星会

理事長 中村 大樹 殿

監事 吉井清信 

監事 小代敦昭 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上